

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
令和4年度 第2回研究倫理審査委員会（安全分野） 議事要旨

開催日時：2023年2月10日（金） 14時00分～16時00分

開催場所：ハイブリッド（現地およびWeb）開催

現地会場：労働安全衛生総合研究所（清瀬地区） 本部棟3階 第1会議室  
〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-4-6

Web会場：Zoom ミーティング

出席者：酒井一博委員長、畠中順子委員、松原健一委員、河野昌子委員（代理：柁田委員）、濱島京子委員、  
佐藤嘉彦委員

事務局：日野泰道、清水尚憲、菅間敦

配布資料

1. 開会挨拶

2. 利益相反：新規申請の確認結果の報告

- 利益相反の新規申請が3件あり、3件とも利益相反に該当しないことが事務局より報告された。

3. 研究倫理審査：迅速審査結果の承認

- 前回の委員会以降に申請のあった下記の迅速審査3件について、事務局より研究概要と審査結果の説明がなされた。3件とも審査結果を「条件付きで承認」として通知済みであることが報告され、異議なく承認された。
  - 受付番号 R4-安4：建設作業における安全行動の促進要因に関する調査、申請者：高橋明子
  - 受付番号 R4-安5：機械設備のリスクアセスメント支援ツールの有効性・使用性に関する調査、申請者：齋藤剛
  - 受付番号 R4-安7：建設作業の経験学習プロセスがハザード知覚と安全行動に及ぼす影響、申請者：高橋明子

4. 研究倫理審査：新規申請の審査

- 下記の新規申請1件について審査が行われ、「条件付きで承認」と判定することに全員一致した。
  - 受付番号 R4-安6：転倒による頭部外傷や脳損傷等に関する労災軽減・防止に関する労働者死傷病報告を用いた研究、申請者：菅知絵美
- 受付番号 R4-安6の申請について、委員の指摘に基づいて研究計画および説明資料を修正するという条件のもと、全員一致で承認された。指摘事項は、下記の通りまとめられた。
  - 最大発揮力を測定する方法と、そのリスクの程度について追記すること。また、本試行として最大発揮力を測定するよう、実験プロトコールの変更を検討すること。

- 最大発揮力の測定方法に関して、研究対象者への教示方法を説明資料に追記すること。
- 足場板の傾斜方向や寸法を研究計画書へ追記すること。また、研究対象者への説明資料の中にも足場の図を追加すること。
- 測定装置やハンドル部のサイズを研究計画書へ追記すること。
- おおよその試行回数を研究対象者に説明する方法について検討すること。
- 実験時に着用する衣類の用意と好ましい服装について説明資料に記載すること。また靴下を持参するように明記すること。
- 実験当日に、研究所内で着替えを行うことと、履物を安全靴に履き替えることについて説明資料に追記すること。
- 靴のサイズと利き手について事前に確認するプロセスを記載すること。

#### 5. その他の議題、事務連絡等

- 来年度の委員委嘱および次回予定について事務局より連絡された。

#### 6. 委員長総括

酒井委員長が総括を行った。下記の事項について、事務局への要望があった。

- 研究倫理審査への申請要件と審査依頼時期について、所内での取り決めに再度確認すること。
- 所外の委員が研究内容を理解しやすくなるよう、申請書の事前説明等の方法を検討すること。

以上